

ドキュメンタリー映画の現場から

●講演：鎌仲ひとみ (映画監督)

●司会：竹田 之 (英語科講師)

最新作「小さき声のカノン-選択する人々」を完成させたばかりです。

ドキュメンタリー映画は

長く時間をかけて制作します。

私の映画は400時間の撮影素材を2時間にしました。

観客には決して届かない、現場での様々なエピソードをお伝えしたいと思います。



■竹田 之

鎌仲ひとみ監督は、テレビドキュメンタリー、「エンデの遺言」で注目を浴び、その後、「六ヶ所ラプソディー (ピア誌年間ドキュメンタリー部門1位)」など核の問題をテーマに、力作を世に送り出して来ました。また、世界を飛び回る多忙な取材、講演の傍ら、数々の本も執筆されています。マ

ルチな活躍をされている鎌仲

監督を河合塾にお招きし、「真実」を探し、伝えて行く難しさと醍醐味を諸君に熱く語って頂きます。



かまなか・ひとみ (映像作家)

早稲田大学卒業と同時にドキュメンタリー映画制作の現場へ。1990年初めての自主制作作品「スエチャおじさん」をバリ島を舞台に制作。同年文化庁の助成を受けてカナダ国立映画制作所へ。1993年からNYのパーパータイガーに参加してメディア・アクティビスト活動。1995年帰国以来、フリーの映像作家としてテレビ、映画の監督をつとめる。

2011年度全国映連賞・監督賞受賞。2012年DVD「内部被ばくを生き抜く」を発売開始し、国内外800ヶ所で上映する。2014年新作「小さき声のカノン-選択する人々」が完成。多摩美術大学非常勤講師。京都造形芸術大学客員教授。

◆代表的な作品

◇映画：「スエチャおじさん パリ・夢・うつつ」、「災害は都市を襲う 阪神大震災救急医療の記録」、「ヒバクシャ-世界の

終わりに」、「六ヶ所村ラプソディー」、「ミツバチの羽音と地球の回転」

◇テレビ：「心の病がいやされる時 今日日本の家族に何が起きているのか」、「エンデの遺言-根元からお金を問う」、「戦禍にみまわれた子供たち-湾岸戦争8年後のイラク-」、「がんを生き抜く希望を支える医療の記録」

◇著作：「六ヶ所村ラプソディー ドキュメンタリー現在進行形」(影書房)、「原発のその先へ-ミツバチ革命が始まる」(集英社)

◇共著：「ドキュメンタリーの力」(子どもの未来社)、「内部被曝の脅威」(ちくま新書)、「今こそ、エネルギーシフト-原発と自然エネルギーと私達の暮らし」(岩波ブックレット)、「鎌仲監督VS福島大学一年生」(子どもの未来社)

9月25日(木) 17:30~19:00
立川校 グリーンアカデミー 62教室

入場無料
申込不要

〒190-0012 立川市曙町 1-14-13

☎0120-198-640

●JR中央線・南武線・青梅線/立川駅北口より徒歩3分

●多摩都市モノレール/立川北駅より徒歩2分、

立川南駅出口1より徒歩3分

